

平成 28 年第 4 四半期景況調査報告

平成 29 年 2 月

平成28年第4四半期景況調査報告

・調査概要

(1) 調査期間	平成29年1月 日 () から平成29年 月 日 ()
(2) 調査方法	FAXによるアンケート調査
(3) 調査対象	市内172事業所(当所役員議員及びモニター事務所)
(4) 回収率	48.8% (84/172)
(5) 調査項目	平成28年10月～12月の業況・売上などの状況判断

・産業別判断指数

(1) 第4四半期(10月～12月期)の実績(水準)

	業況 (良い割合—悪い割合)	売上 (好調割合—低調割合)	採算 (黒字割合—赤字割合)	資金繰り (余裕割合—苦しい割合)	仕入れ価格 (低い割合—高い割合)	受注(客)単価 (高い割合—低い割合)	従業員 (過剰割合—不足割合)
全産業	▲11.4	▲9.6	26.5	1.2	▲16.9	▲31.7	▲44.6
製造業	▲5.6	0.0	55.6	18.5	0.0	▲22.2	▲40.7
建設業	▲14.3	▲14.3	23.8	▲4.8	▲33.3	▲52.4	▲61.9
卸・小売業	▲31.8	▲45.5	▲9.1	▲45.5	▲27.3	▲50.0	▲27.3
サービス業	▲6.3	0.0	12.5	8.3	▲16.7	▲16.7	▲41.7

(2) 第4四半期(10月～12月期)の前年同期比

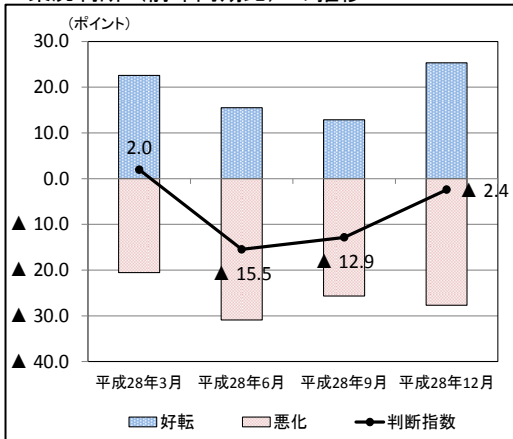
	業況 (好転割合—悪化割合)	売上 (増加割合—減少割合)	採算 (好転割合—悪化割合)	資金繰り (好転割合—悪化割合)	仕入れ価格 (下落割合—上昇割合)	受注(客)単価 (上昇割合—下落割合)	
全産業	▲2.4	▲7.2	▲7.2	1.2	▲14.5	▲20.7	30を超える
製造業	3.7	0.0	7.4	14.8	7.4	▲11.1	10～30
建設業	▲14.3	▲9.5	▲9.5	0.0	▲33.3	▲19.0	▲10超～10未満
卸・小売業	▲45.5	▲54.5	▲45.5	▲36.4	▲18.2	▲50.0	▲30～▲10
サービス業	20.8	8.3	▲4.2	4.2	▲20.8	▲20.8	▲30下回る

※(1)実績(水準)は調査時における市内の景気水準を(2)前年同期比は前年同期からの変化を示す。

※上記の指数は、業況・売上・採算など各項目についての状況の判断を示す。プラス(「好転」超など)であれば、景気が良い水準(上向き傾向)を表す回答割合が多いことを示し、マイナス(「悪化」超など)であれば、景気が悪い水準(下向き傾向)を表す回答割合が多いことを示す。

※実績(水準)の業況のみ5段階(良い、やや良い、どちらともいえない、やや悪い、悪い)で評価(他は3段階評価)。

・業況判断(前年同期比)の推移

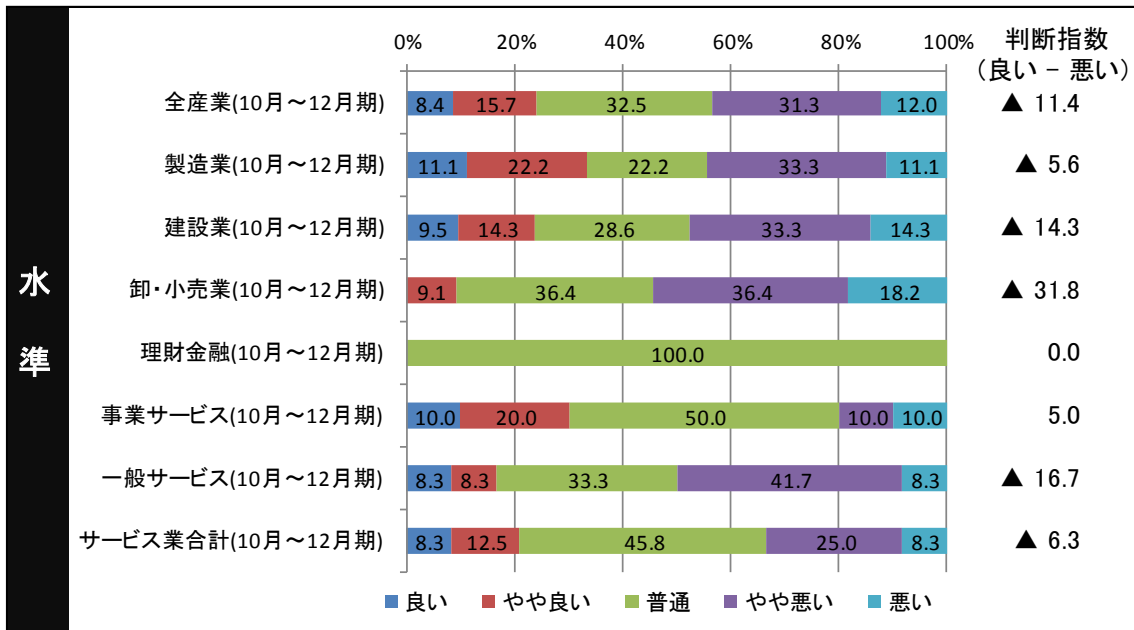


・調査結果のポイント

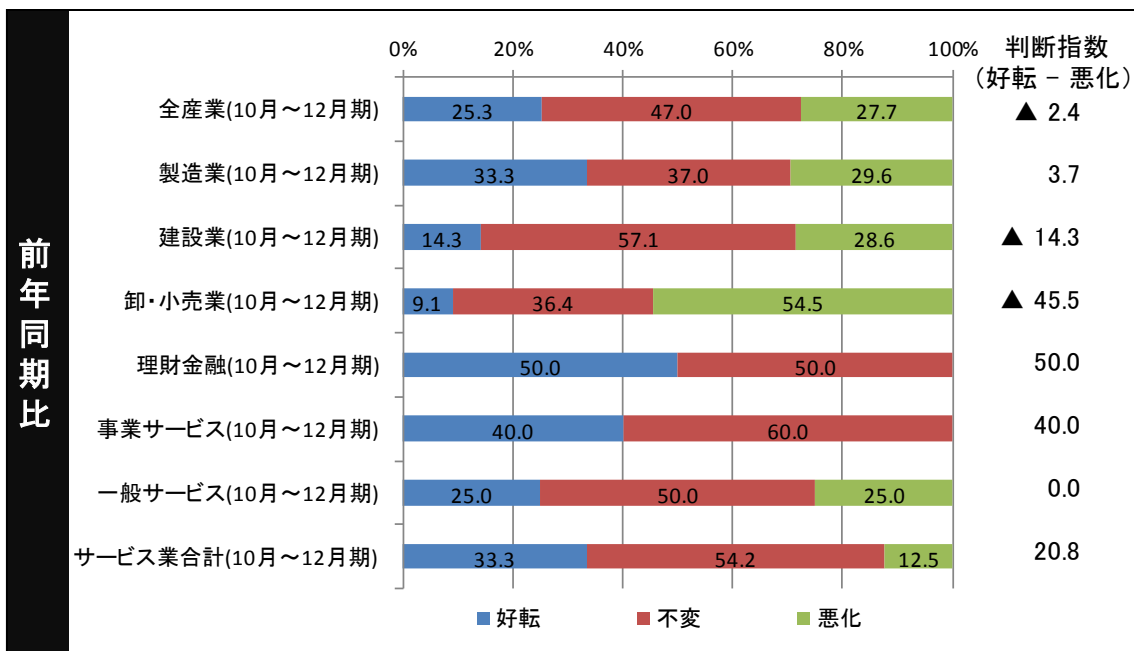
市内企業の業況判断指数は、10月～12月期の実績(水準)は、全産業で▲11.4と前回調査(7月～9月期)の▲5.0から低下した。業種別でみると、全業種がマイナス圏で、卸・小売業が▲31.8と特に低調。項目別では前回調査に続き、受注(客)単価、従業員判断が全産業で大きくマイナスとなっている。

前年同期からの変化をみると、全産業で▲2.4と前回調査の▲12.9から「悪化」超幅が縮小。業種別では製造業、サービス業で「好転」超となった。一方で、卸・小売業で▲45.5と、消費低迷の影響から依然厳しい状況であることがうかがえる。

【業況についての判断】



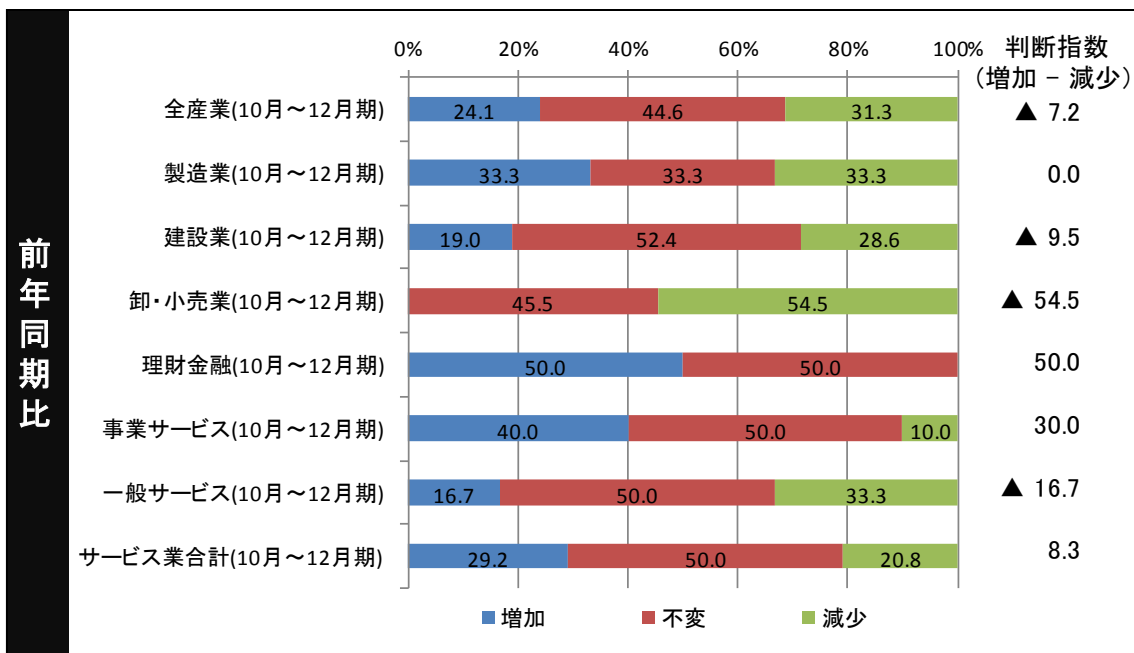
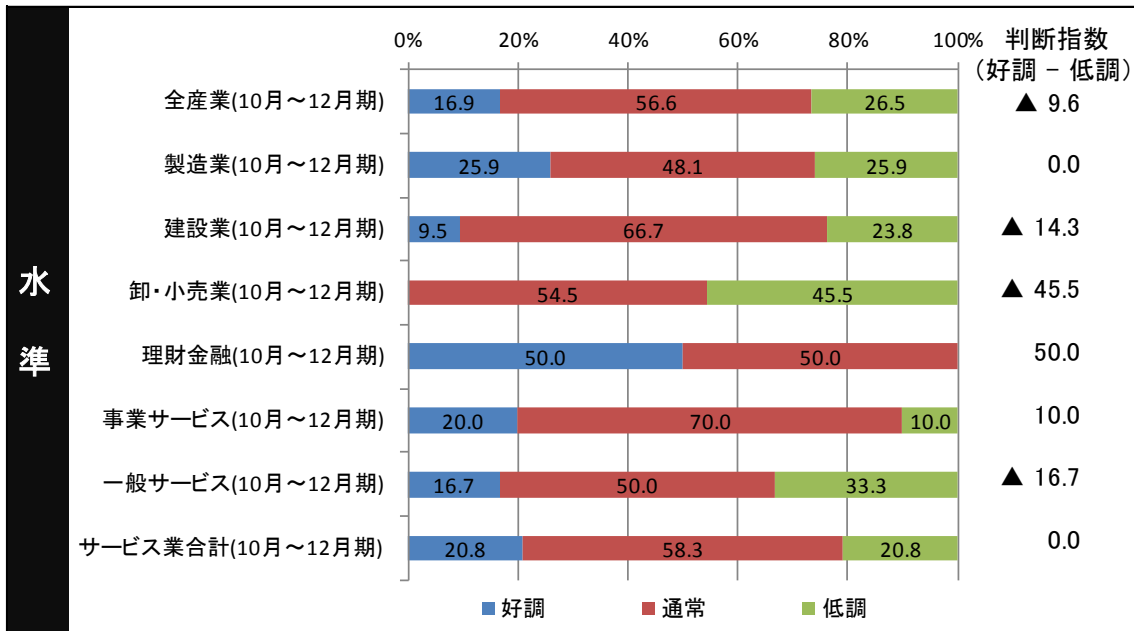
※業況水準の判断指数＝「良い」割合＋「やや良い」割合×0.5－「やや悪い」割合×0.5－「悪い」割合



・10月～12月期の全産業合計の業況水準の判断指数は▲11.4と前回調査（7月～9月期）の▲5.0から低下した。業種別に見ると事業サービス業のみ「良い」超となったものの、製造業、建設業、卸・小売業、一般サービス業で「悪い」超となっている。

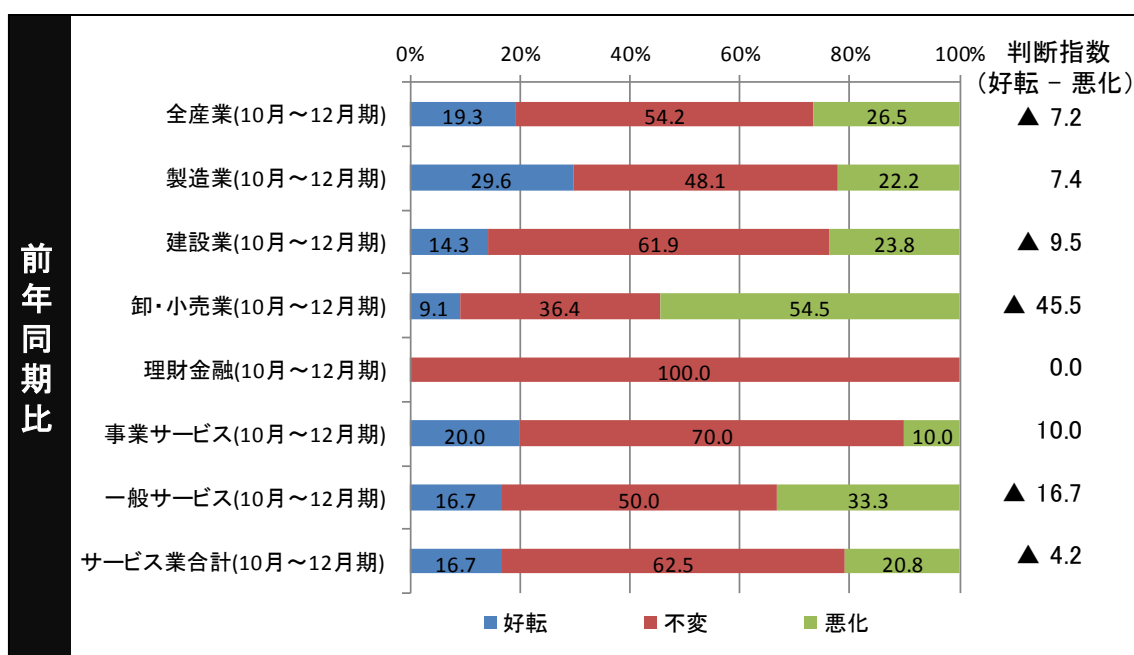
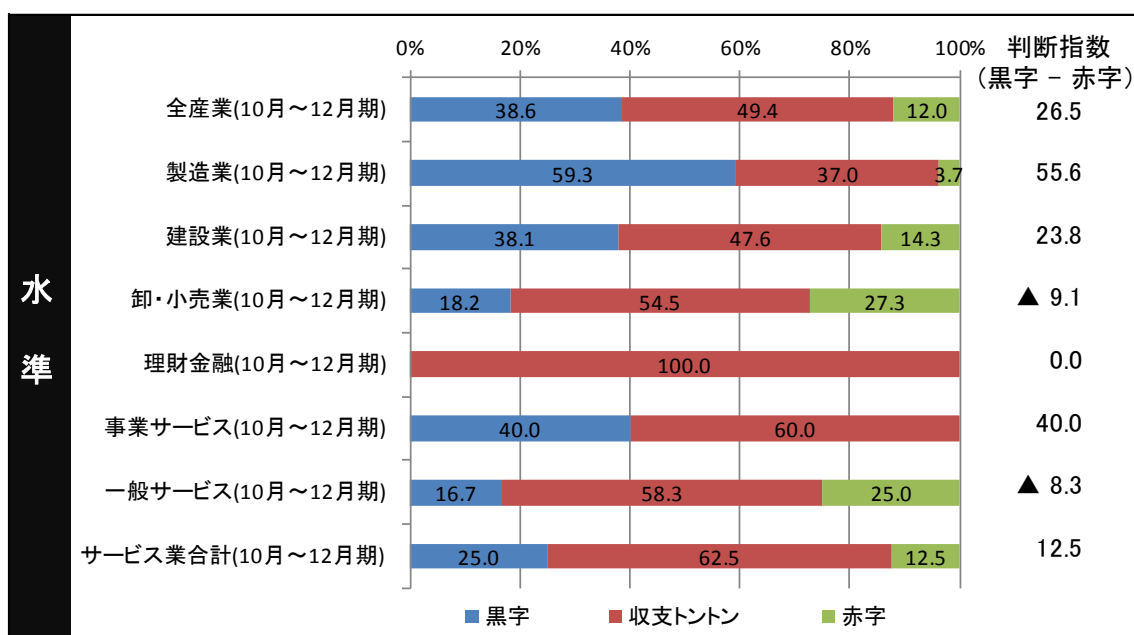
・10月～12月期の前年同期比をみると、全産業合計で▲2.4と「悪化」超。業種別に見ると、製造業、事業サービス業などが「好転」超となる一方、建設業、卸・小売業が「悪化」超となった。特に卸・小売業での低迷が目立つ。

【売上の状況についての判断】



- ・ 10月～12月期の全産業合計の売上水準の判断指数は▲9.6と前回調査(7月～9月期)の▲16.9から上昇したものの、依然として「低調」超。業種別に見ると、建設業、卸・小売業が「低調」超となっており、特に卸・小売業の▲45.5が目立つ。製造業は±0.0。
- ・ 10月～12月期の前年同期比を見ると、全産業合計は▲7.2と「減少」超。業種別に見ると、事業サービス業が「増加」超と前年から良化傾向がみられる一方、建設業、卸・小売業、一般サービス業では「減少」超となっており、前年に比べ弱い動きがみられる。

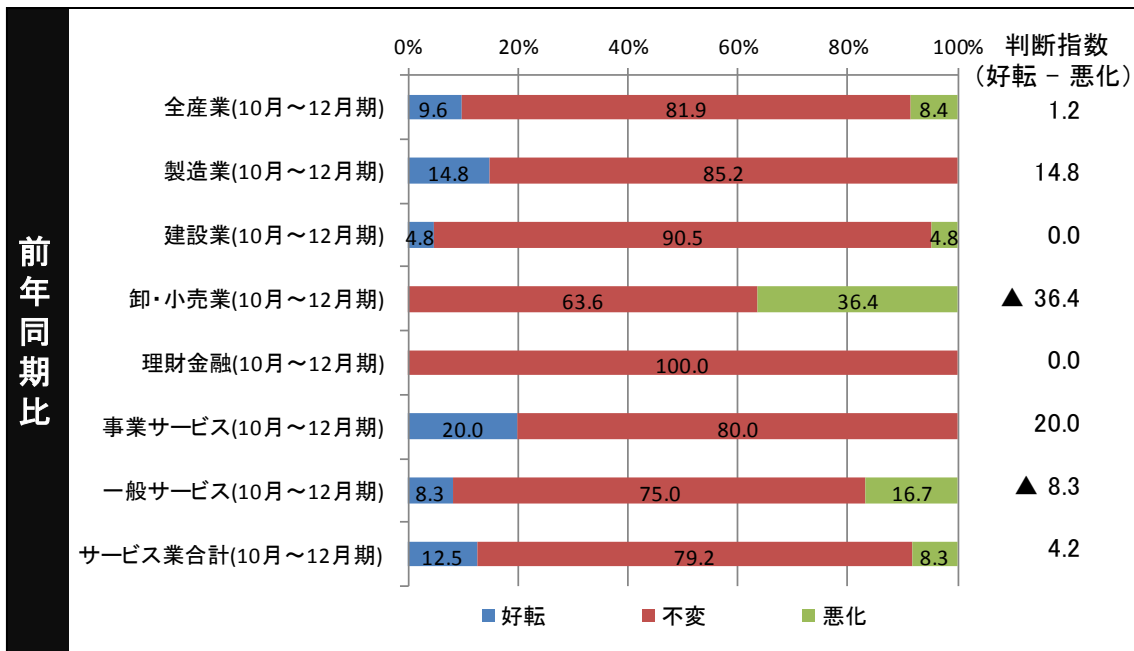
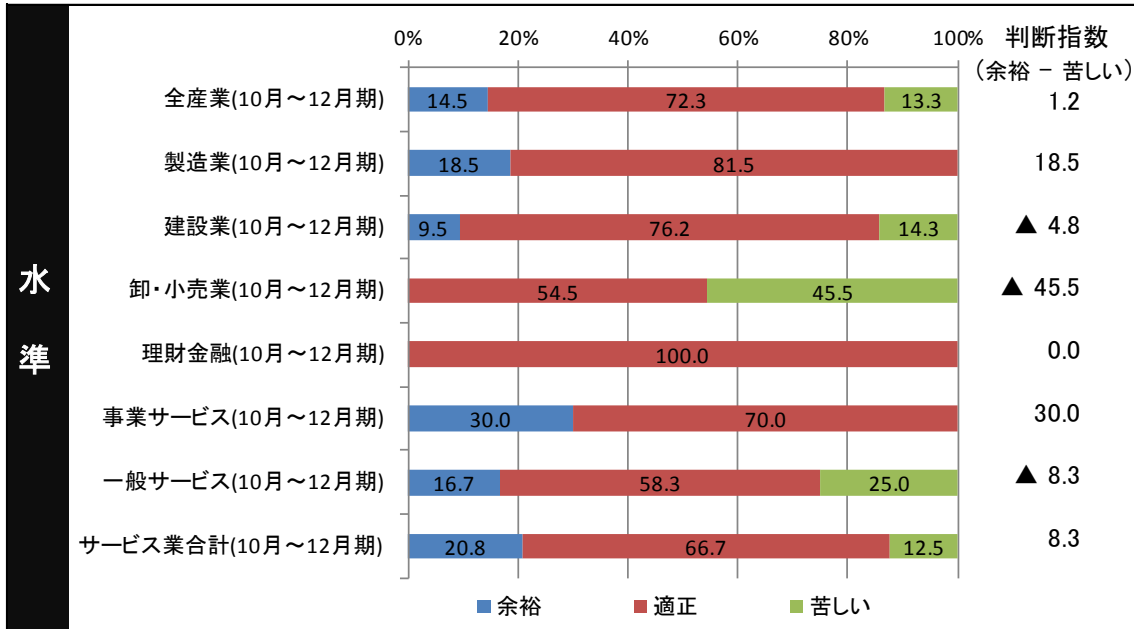
【採算の状況についての判断】



・10月～12月期の全産業合計の採算水準の判断指数は26.5と「黒字」超、前回調査(7月～9月期)の26.8からほぼ横ばい水準となった。業種別に見ると、卸・小売業、一般サービス業で「赤字」超となるも、前回調査から「赤字」割合は減少している。

・10月～12月期の前年同期比を見ると、全産業合計は▲7.2と「悪化」超。業種別に見ると、製造業、事業サービス業で「好転」超となる一方、建設業、卸・小売業、一般サービス業で「悪化」超となった。卸・小売業は前年からの「悪化」回答が半数を超えており、厳しい状況がうかがえる。

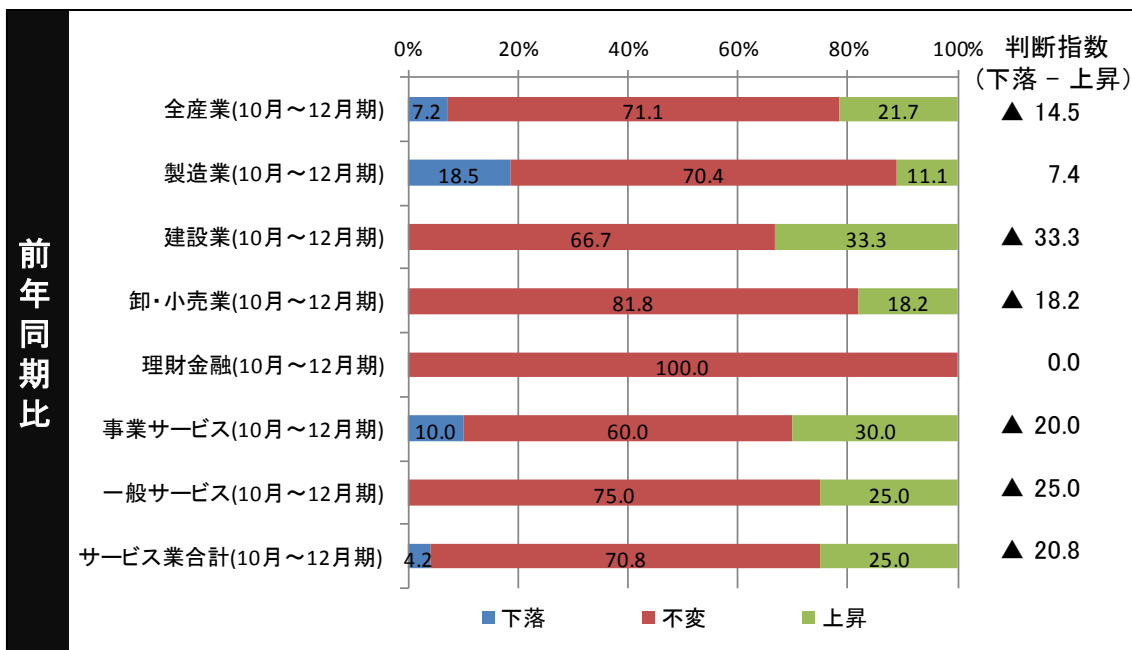
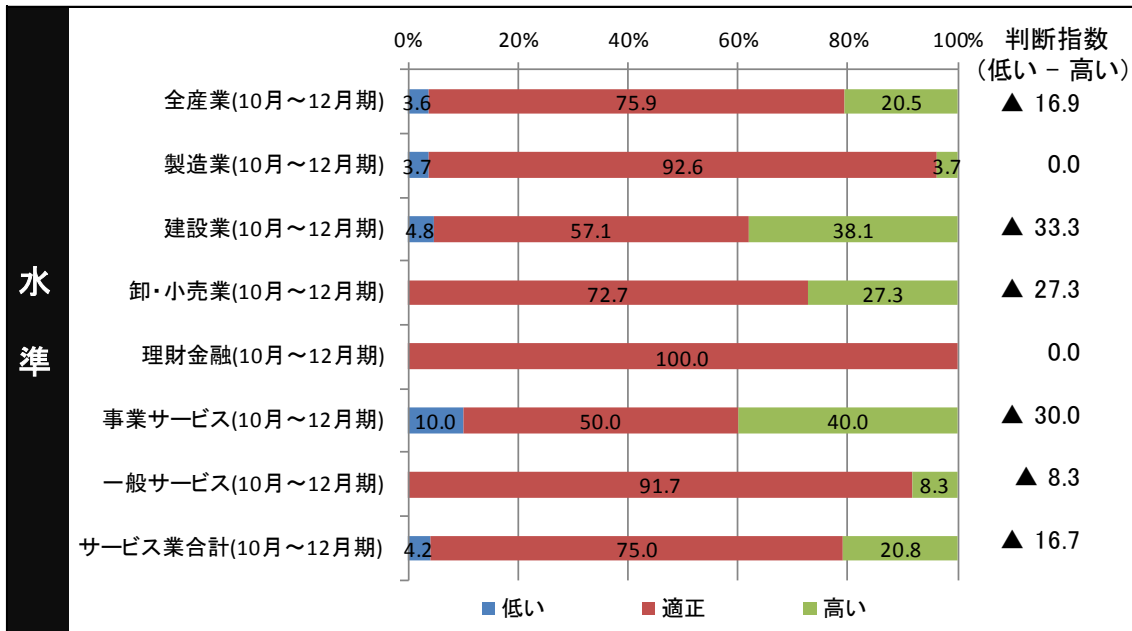
【資金繰りの状況についての判断】



・10月～12月期の全産業合計の資金繰り水準の判断指数は、1.2 と前回調査（7月～9月期）の▲1.4 から上昇、「苦しい」超から「余裕」超に転じた。業種別に見ると、製造業、事業サービス業で「余裕」超となる一方、建設業、卸・小売業、一般サービス業で「苦しい」超となっている。特に卸・小売業は▲45.5 とマイナス幅が大きい。

・10月～12月期の前年同期比を見ると、全産業合計は 1.2 と「好転」超。業種別に見ると、製造業、事業サービス業で「好転」超となる一方、卸・小売業、一般サービス業では「悪化」超となった。

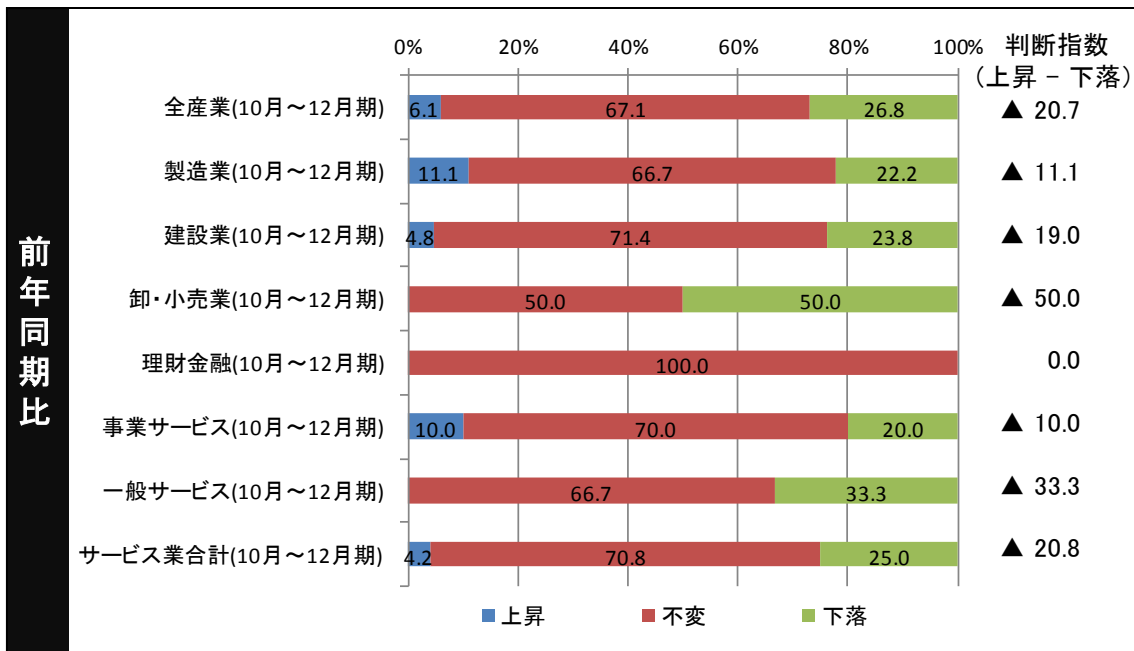
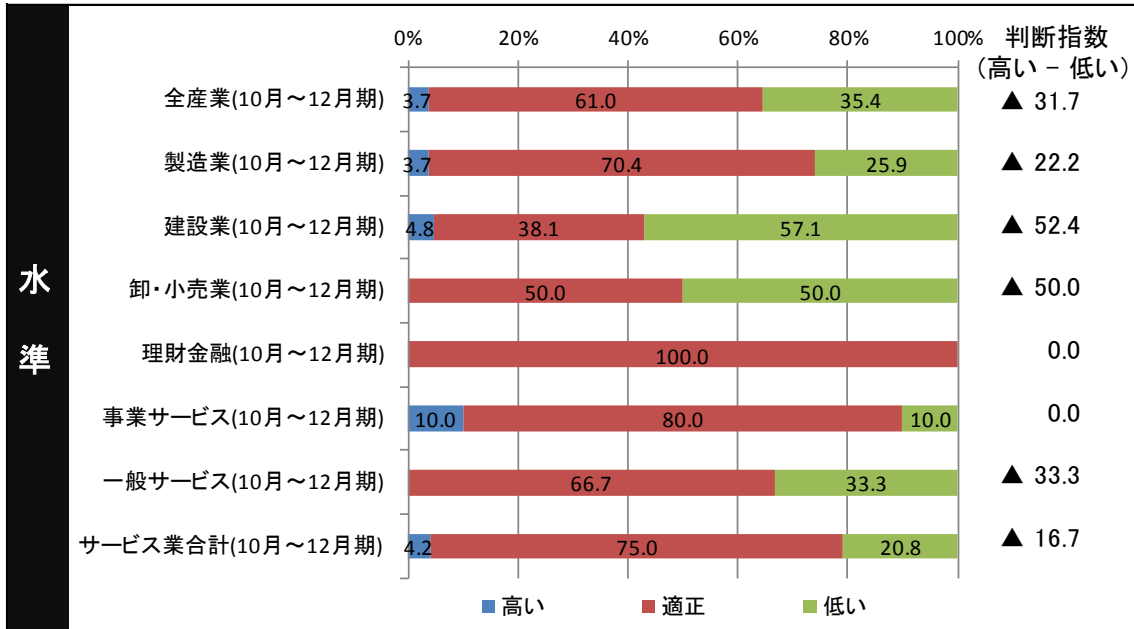
【仕入れ価格の状況についての判断】



・10月～12月期の全産業合計の仕入れ価格水準の判断指数は▲16.9と前回調査（7月～9月期）の▲9.0から低下した。業種別に見ると、建設業、卸・小売業、事業サービス業で「高い」の回答割合が前回調査から増加し、特に大きい。製造業や、一般サービス業では9割超が適正水準であると回答している。

・10月～12月期の前年同期比を見ると、全産業合計は▲14.5と「上昇」超。業種別に見ると、製造業で「下落」超となる一方、建設業、卸・小売業、事業サービス業、一般サービス業では「上昇」超となった。

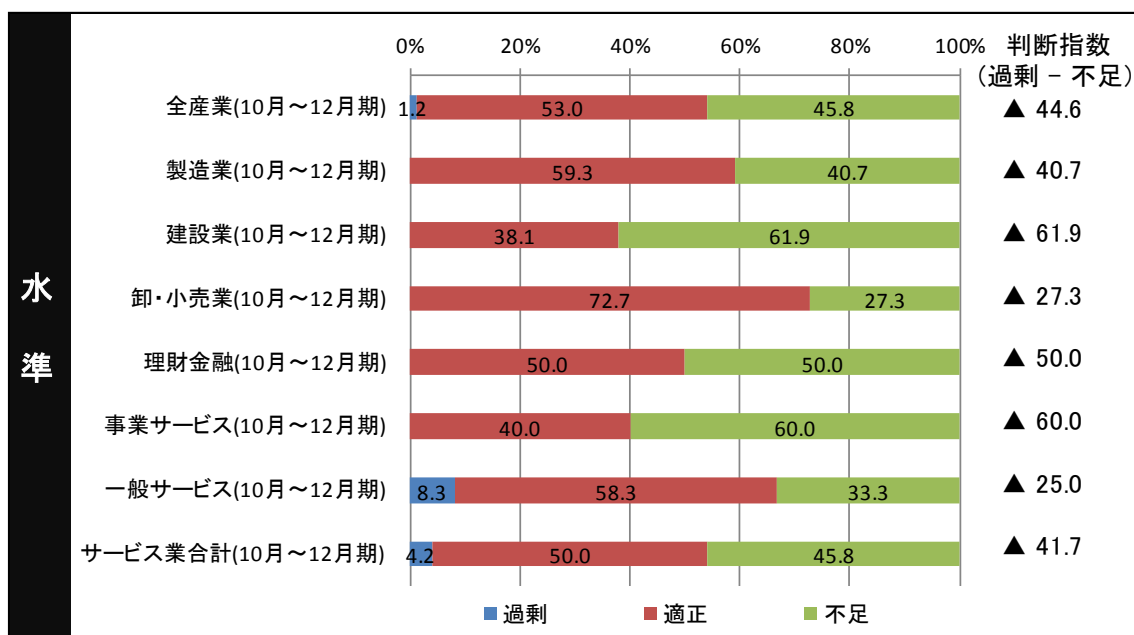
【受注(客)単価の状況についての判断】



・10月～12月期の全産業合計の受注(客)単価水準の判断指数は▲31.7と前回調査(7月～9月期)の▲29.4から上昇。「高い」の回答割合は非常に少なく、業種別に見ると、建設業、卸・小売業では5割超が「低い」と回答している。

・10月～12月期の前年同期比を見ると、全産業合計は▲20.7と「下落」超。業種別に見ると、理財金融を除く全業種で「下落」超となっており、受注(客)単価は低水準にある中、下落傾向にあるものとみられる。

【従業員の状況についての判断】



・10月～12月期の従業員過不足水準の判断指数は▲44.6と前回調査(7月～9月期)の▲35.2からさらに「不足」回答割合が多くなった。すべての業種で「不足」超となっている。建設業、事業サービスで前回調査(7月～9月期)に引き続き「不足」超が大きい。前回調査からの変化は、卸・小売業が▲50.0から▲27.3と「不足」超が減少した一方、製造業では▲25.0から▲40.7へ「不足」超が増加。従業員の不足感は引き続き多くの業種に広がっている。

【設備投資】

期間中の設備投資については、31.3%が「実施した」と回答。業種別の実施割合を見ると、最も高かったのは製造業で48.1%の事業所で設備投資を実施している。

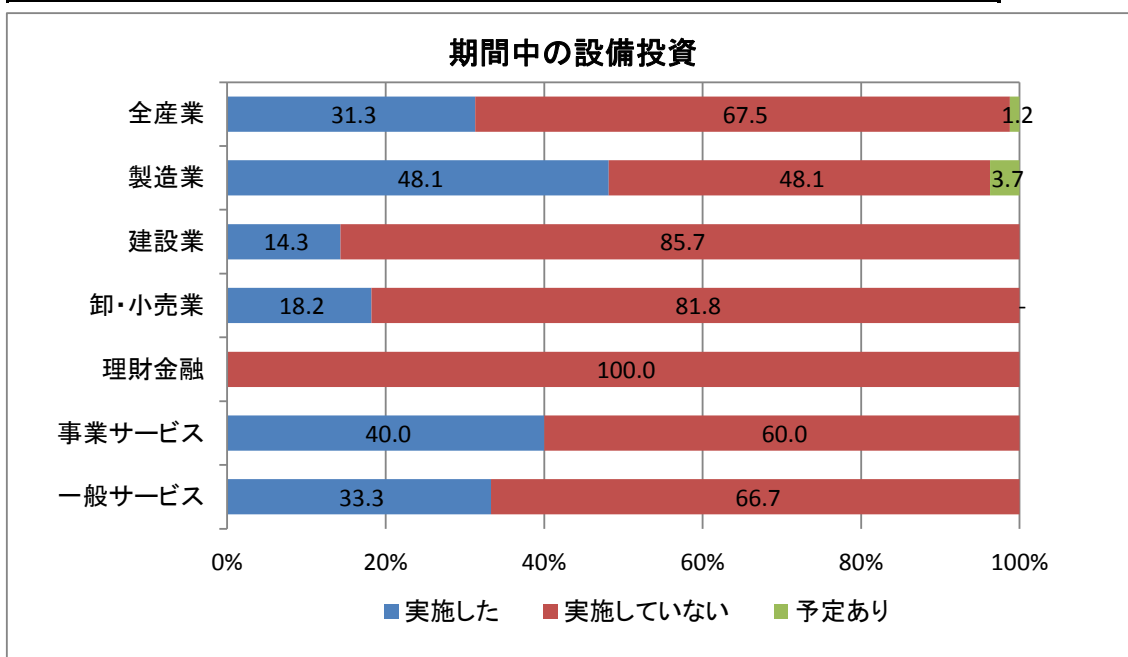
設備投資の目的としては「補修・更新」が19件で最も多く、次いで「生産能力拡大・売上増」(9件)となった。

問2-①期間中に設備投資は実施しましたか。

期間中の設備投資	件数
実施した	26
実施していない	56
予定あり	1
無回答	1
計	84

10月～12月期の設備投資の実施(業種別)

業種	上段:件数 下段:%	期間中の設備投資			
		合計	実施した	実施していない	予定あり
業種	全産業	83 100.0	26 31.3	56 67.5	1 1.2
	製造業	27 100.0	13 48.1	13 48.1	1 3.7
	建設業	21 100.0	3 14.3	18 85.7	-
	卸・小売業	11 100.0	2 18.2	9 81.8	-
	理財金融	2 100.0	-	2 100.0	-
	事業サービス	10 100.0	4 40.0	6 60.0	-
	一般サービス	12 100.0	4 33.3	8 66.7	-



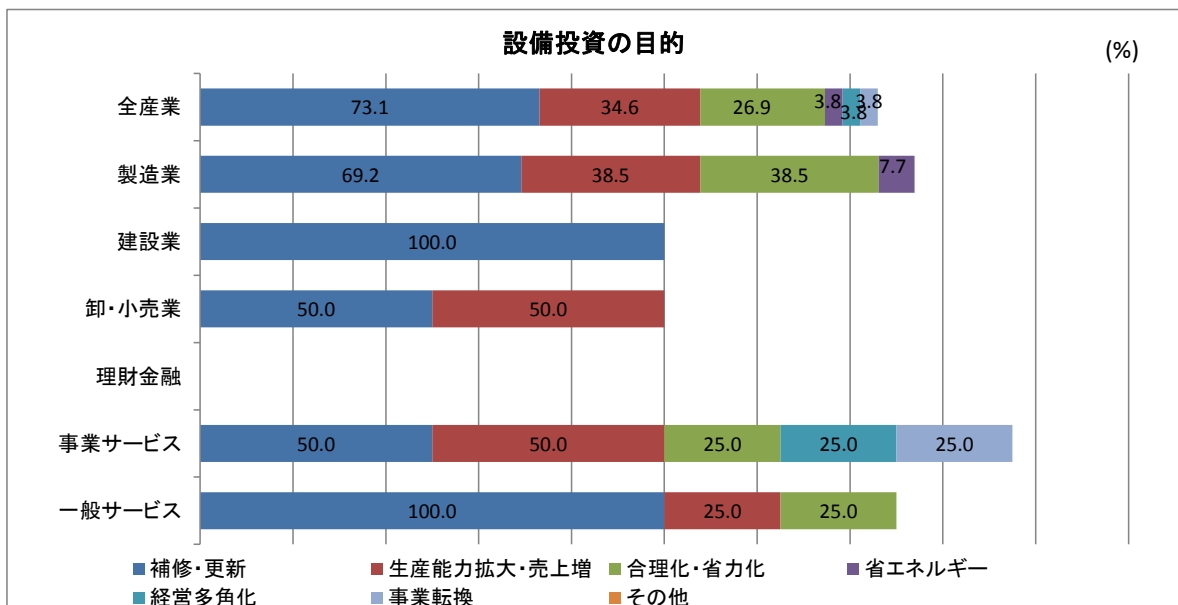
問2-②. 設備投資の目的

(複数回答)

設備投資の目的	件数
補修・更新	19
生産能力拡大・売上増	9
合理化・省力化	7
省エネルギー	1
経営多角化	1
事業転換	1
その他	0
無回答	0

設備投資の目的(業種別)

上段:件数 下段:%		設備投資の目的							
		合計	補修・更新	生産能力拡大・売上増	合理化・省力化	省エネルギー	経営多角化	事業転換	その他
業種	全産業	26 100.0	19 73.1	9 34.6	7 26.9	1 3.8	1 3.8	1 3.8	-
	製造業	13 100.0	9 69.2	5 38.5	5 38.5	1 7.7	-	-	-
	建設業	3 100.0	3 100.0	-	-	-	-	-	-
	卸・小売業	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-	-	-	-	-
	理財金融	-	-	-	-	-	-	-	-
	事業サービス	4 100.0	2 50.0	2 50.0	1 25.0	-	1 25.0	1 25.0	-
	一般サービス	4 100.0	4 100.0	1 25.0	1 25.0	-	-	-	-



【コスト増加分の価格転嫁について】

商品・サービスにおけるコスト増加分の価格転嫁について、「全て転嫁できている」と回答した企業は11.1%となった。一方、「全く転嫁できていない」と回答した企業が25.9%で、「一部転嫁できている」と合わせ価格転嫁できていない事業所は9割弱となった。

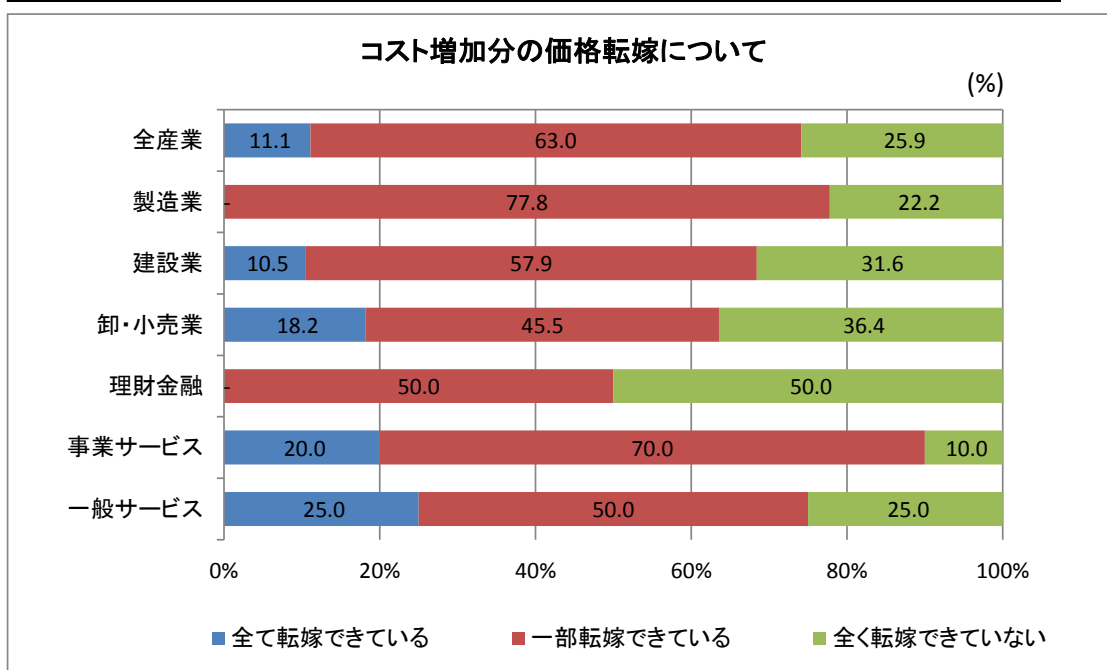
「全く転嫁できていない」「一部転嫁できている」を回答した企業に転嫁できていない理由を尋ねたところ、「競合他社が販売価格を上げていない」が43件（63.2%）と最も多く、「消費者の節約・低価格志向が強まっているため」が21件（30.9%）と続いている。

問3-①コスト増加分の価格転嫁について

コスト増加分の価格転嫁	件数
全て転嫁できている	9
一部転嫁できている	51
全く転嫁できていない	21
無回答	3
計	84

問3-①コスト増加分の価格転嫁について(業種別)

上段:件数 下段:%		問3-①コスト増加分の価格転嫁について			
		合計	全て転嫁できている	一部転嫁できている	全く転嫁できていない
業種	全産業	81 100.0	9 11.1	51 63.0	21 25.9
	製造業	27 100.0	-	21 77.8	6 22.2
	建設業	19 100.0	2 10.5	11 57.9	6 31.6
	卸・小売業	11 100.0	2 18.2	5 45.5	4 36.4
	理財金融	2 100.0	-	1 50.0	1 50.0
	事業サービス	10 100.0	2 20.0	7 70.0	1 10.0
	一般サービス	12 100.0	3 25.0	6 50.0	3 25.0



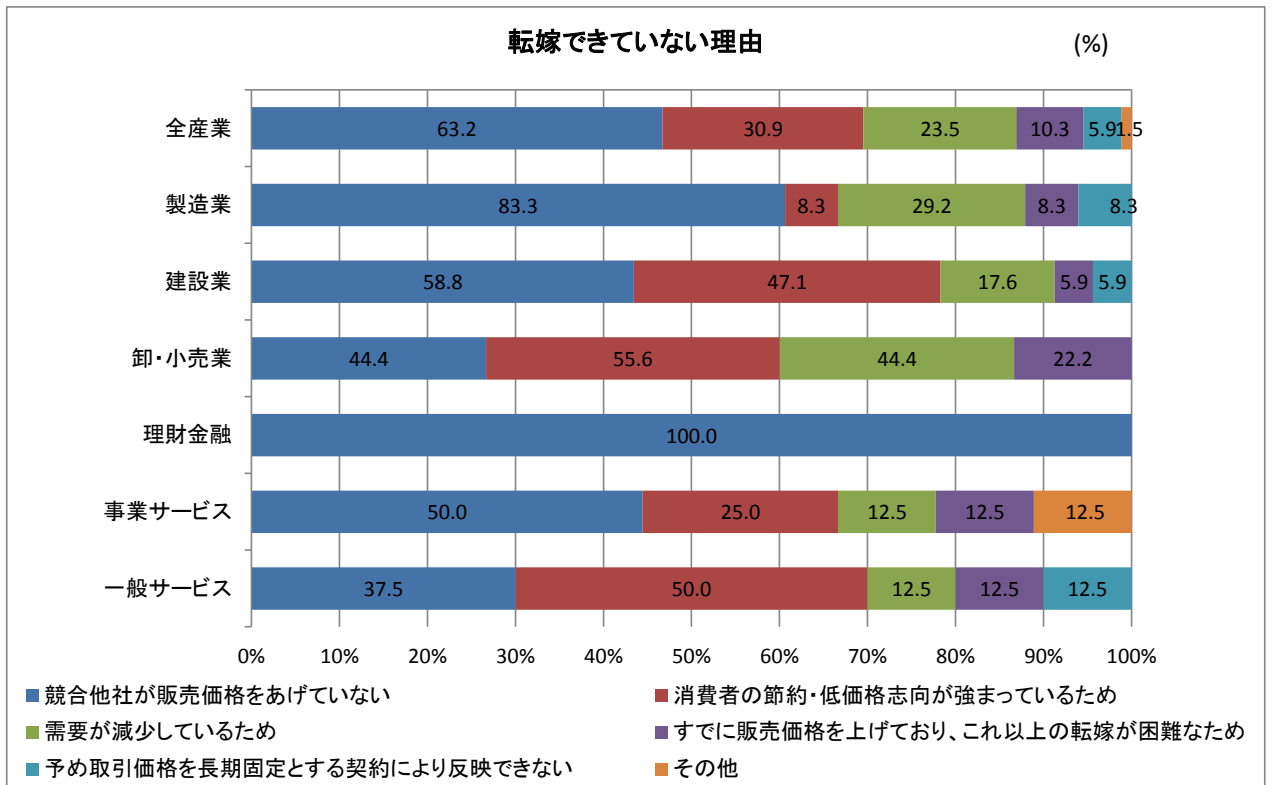
問3-②転嫁できていない理由

(複数回答)

積極化している具体的な内容	件数
競合他社が販売価格をあげていない	43
消費者の節約・低価格志向が強まっているため	21
需要が減少しているため	16
すでに販売価格を上げており、これ以上の転嫁が困難なため	7
予め取引価格を長期固定とする契約により反映できない	4
その他	1
無回答	4

転嫁できていない理由(業種別)

業種	上段:件数 下段:%	転嫁できていない理由						
		合計	競合他社が販売価格をあげていない	消費者の節約・低価格志向が強まっているため	需要が減少しているため	すでに販売価格を上げており、これ以上の転嫁が困難なため	予め取引価格を長期固定とする契約により反映できない	その他
業種	全産業	68 100.0	43 63.2	21 30.9	16 23.5	7 10.3	4 5.9	1 1.5
	製造業	24 100.0	20 83.3	2 8.3	7 29.2	2 8.3	2 8.3	-
	建設業	17 100.0	10 58.8	8 47.1	3 17.6	1 5.9	1 5.9	-
	卸・小売業	9 100.0	4 44.4	5 55.6	4 44.4	2 22.2	-	-
	理財金融	2 100.0	2 100.0	-	-	-	-	-
	事業サービス	8 100.0	4 50.0	2 25.0	1 12.5	1 12.5	-	1 12.5
	一般サービス	8 100.0	3 37.5	4 50.0	1 12.5	1 12.5	1 12.5	-



【新たな取り組み】

新商品開発、新事業展開、新分野進出への取り組み についての「予定がある」の回答が 26 件 (31.7%)、「興味がある」の回答が 25 件(30.5%)となった

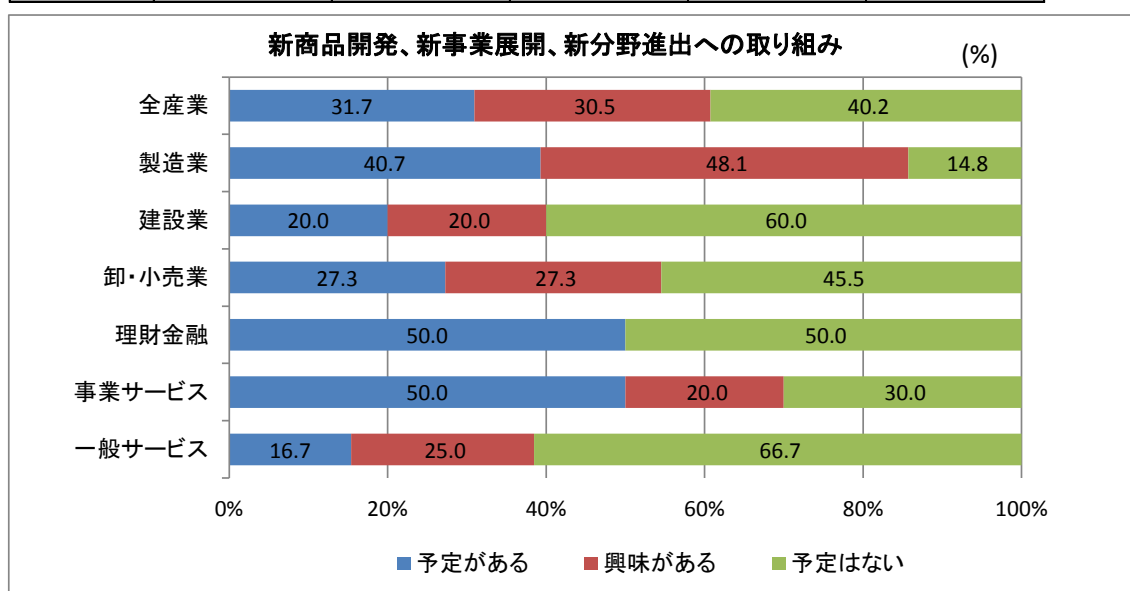
予定内容は、「新商品開発」が 15 件、興味内容は「新事業展開」が 14 件と最も多かった。

問4-①. 新商品開発、新事業展開、新分野進出への取り組み (複数回答)

新たな取組み	件数
予定がある	26
興味がある	25
予定はない	33
無回答	2
計	84

新たな取り組み(業種別)

上段:度数 下段:%		問4. 新商品開発、新事業展開、新分野進出への取り組み			
		合計	予定がある	興味がある	予定はない
業種	全体	82 100.0	26 31.7	25 30.5	33 40.2
	製造業	27 100.0	11 40.7	13 48.1	4 14.8
	建設業	20 100.0	4 20.0	4 20.0	12 60.0
	卸・小売業	11 100.0	3 27.3	3 27.3	5 45.5
	理財金融	2 100.0	1 50.0	-	1 50.0
	事業サービス	10 100.0	5 50.0	2 20.0	3 30.0
	一般サービス	12 100.0	2 16.7	3 25.0	8 66.7



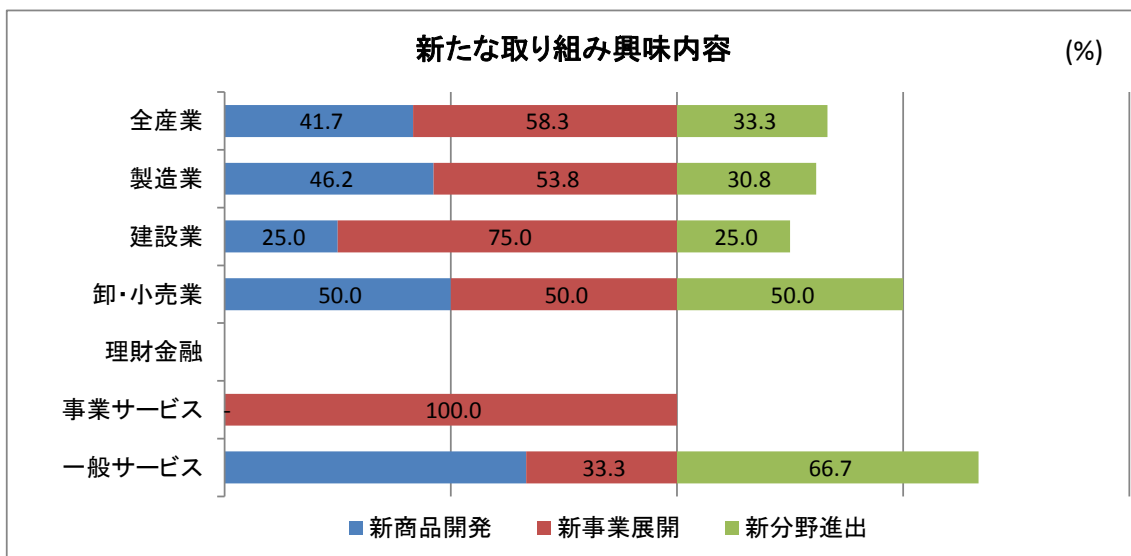
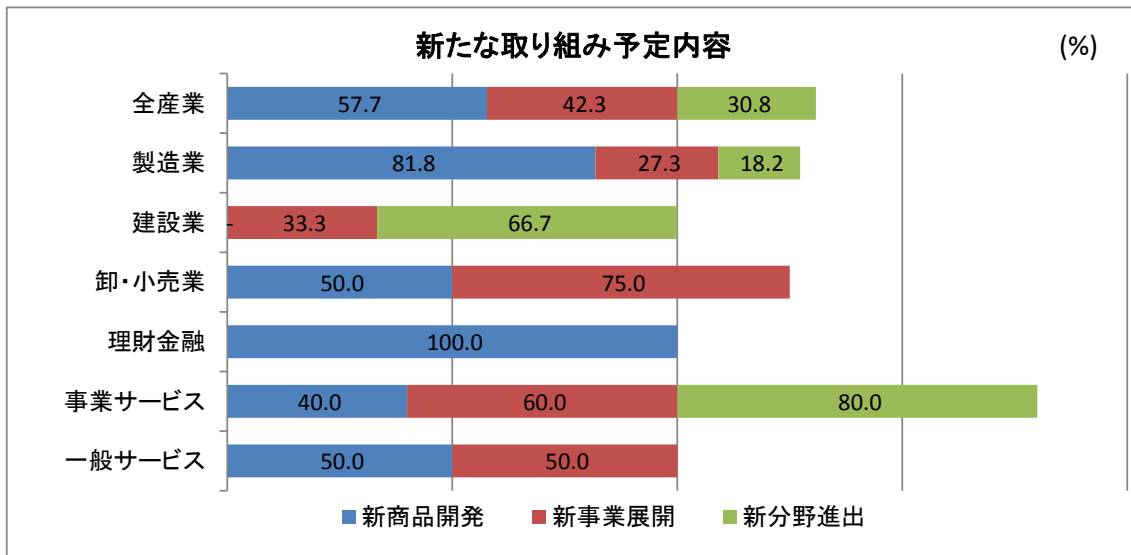
問4-②. 予定・興味の内容

(複数回答)

内容	予定あり件数	興味あり件数
新商品開発	15	10
新事業展開	11	14
新分野進出	8	8

予定・興味の内容(業種別)

業種	上段:件数 下段:%	問4-1. 予定内容				興味内容			
		合計	新商品開発	新事業展開	新分野進出	合計	新商品開発	新事業展開	新分野進出
業種	全体	26 100.0	15 57.7	11 42.3	8 30.8	24 100.0	10 41.7	14 58.3	8 33.3
	製造業	11 100.0	9 81.8	3 27.3	2 18.2	13 100.0	6 46.2	7 53.8	4 30.8
	建設業	3 100.0	-	1 33.3	2 66.7	4 100.0	1 25.0	3 75.0	1 25.0
	卸・小売業	4 100.0	2 50.0	3 75.0	-	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0
	理財金融	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-
	事業サービス	5 100.0	2 40.0	3 60.0	4 80.0	2 100.0	-	2 100.0	-
	一般サービス	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-	3 100.0	2 66.7	1 33.3	2 66.7



【経営課題】

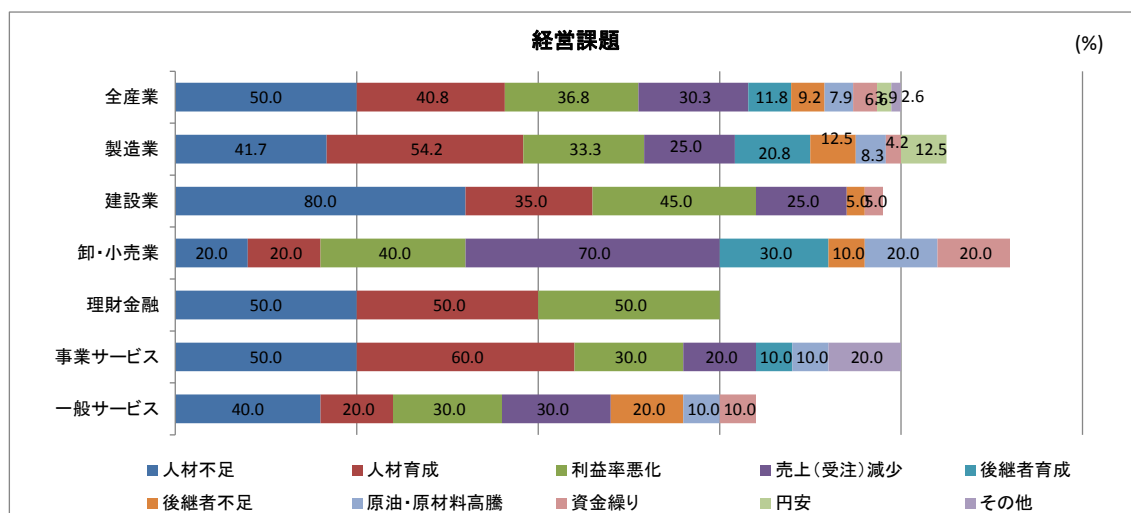
「人材育成」が50.0%と最も高く、「人材不足」(40.8%)、「利益率悪化」(36.8%)と続いている。業種別では建設業の「人材不足」(80.0%)、卸・小売業の「売上減少」(70.0%)が特に大きい。

問5. 現在お悩みの経営課題について (複数回答)

経営課題	件数
人材不足	38
人材育成	31
利益率悪化	28
売上(受注)減少	23
後継者育成	9
後継者不足	7
原油・原材料高騰	6
資金繰り	5
円安	3
その他	2
無回答	8

経営課題 (業種別)

業種	上段:件数 下段:%	経営課題										
		合計	人材不足	人材育成	利益率悪化	注) 売上(受注)減少	後継者育成	後継者不足	原油・原材料高騰	資金繰り	円安	その他
業種	全産業	76 100.0	38 50.0	31 40.8	28 36.8	23 30.3	9 11.8	7 9.2	6 7.9	5 6.6	3 3.9	2 2.6
	製造業	24 100.0	10 41.7	13 54.2	8 33.3	6 25.0	5 20.8	3 12.5	2 8.3	1 4.2	3 12.5	-
	建設業	20 100.0	16 80.0	7 35.0	9 45.0	5 25.0	-	1 5.0	-	1 5.0	-	-
	卸・小売業	10 100.0	2 20.0	2 20.0	4 40.0	7 70.0	3 30.0	1 10.0	2 20.0	2 20.0	-	-
	理財金融	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	-	-	-	-	-	-	-
	事業サービス	10 100.0	5 50.0	6 60.0	3 30.0	2 20.0	1 10.0	-	1 10.0	-	-	2 20.0
	一般サービス	10 100.0	4 40.0	2 20.0	3 30.0	3 30.0	3 30.0	2 20.0	1 10.0	1 10.0	-	-



景況調査データ

単位：件

		10月～12月期水準							10月～12月期前年同月比					
		業況	売上	採算	資金繰り	仕入れ価格	受注(客)単価	従業員	業況	売上	採算	資金繰り	仕入れ価格	受注(客)単価
全産業	良い・好転	7	14	32	12	3	3	1	21	20	16	8	6	5
	やや良い	13												
	普通・不変	27	47	41	60	63	50	44	39	37	45	68	59	55
	やや悪い	26												
	悪い・悪化	10	22	10	11	17	29	38	23	26	22	7	18	22
	合計	83	83	83	83	83	82	83	83	83	83	83	83	82
製造業	良い・好転	3	7	16	5	1	1	0	9	9	8	4	5	3
	やや良い	6												
	普通・不変	6	13	10	22	25	19	16	10	9	13	23	19	18
	やや悪い	9												
	悪い・悪化	3	7	1	0	1	7	11	8	9	6	0	3	6
	合計	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27
建設業	良い・好転	2	2	8	2	1	1	0	3	4	3	1	0	1
	やや良い	3												
	普通・不変	6	14	10	16	12	8	8	12	11	13	19	14	15
	やや悪い	7												
	悪い・悪化	3	5	3	3	8	12	13	6	6	5	1	7	5
	合計	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21
卸・小売業	良い・好転	0	0	2	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0
	やや良い	1												
	普通・不変	4	6	6	6	8	5	8	4	5	4	7	9	5
	やや悪い	4												
	悪い・悪化	2	5	3	5	3	5	3	6	6	6	4	2	5
	合計	11	11	11	11	11	10	11	11	11	11	11	11	10
理財金融	良い・好転	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
	やや良い	0												
	普通・不変	2	1	2	2	2	2	1	1	1	2	2	2	2
	やや悪い	0												
	悪い・悪化	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	合計	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
事業サービス	良い・好転	1	2	4	3	1	1	0	4	4	2	2	1	1
	やや良い	2												
	普通・不変	5	7	6	7	5	8	4	6	5	7	8	6	7
	やや悪い	1												
	悪い・悪化	1	1	0	0	4	1	6	0	1	1	0	3	2
	合計	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
一般サービス	良い・好転	1	2	2	2	0	0	1	3	2	2	1	0	0
	やや良い	1												
	普通・不変	4	6	7	7	11	8	7	6	6	6	9	9	8
	やや悪い	5												
	悪い・悪化	1	4	3	3	1	4	4	3	4	4	2	3	4
	合計	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
サービス業合計	良い・好転	2	5	6	5	1	1	1	8	7	4	3	1	1
	やや良い	3												
	普通・不変	11	14	15	16	18	18	12	13	12	15	19	17	17
	やや悪い	6												
	悪い・悪化	2	5	3	3	5	5	11	3	5	5	2	6	6
	合計	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24

単位：%、判断指数はポイント

		10月～12月期水準							10月～12月期前年同月比					
		業況	売上	採算	資金繰り	仕入れ価格	受注(客)単価	従業員	業況	売上	採算	資金繰り	仕入れ価格	受注(客)単価
全産業	良い・好転	8.4	16.9	38.6	14.5	3.6	3.7	1.2	25.3	24.1	19.3	9.6	7.2	6.1
	やや良い	15.7												
	普通・不変	32.5	56.6	49.4	72.3	75.9	61.0	53.0	47.0	44.6	54.2	81.9	71.1	67.1
	やや悪い	31.3												
	悪い・悪化	12.0	26.5	12.0	13.3	20.5	35.4	45.8	27.7	31.3	26.5	8.4	21.7	26.8
	判断指数	▲ 11.4	▲ 9.6	26.5	1.2	▲ 16.9	▲ 31.7	▲ 44.6	▲ 2.4	▲ 7.2	▲ 7.2	1.2	▲ 14.5	▲ 20.7
製造業	良い・好転	11.1	25.9	59.3	18.5	3.7	3.7	0.0	33.3	33.3	29.6	14.8	18.5	11.1
	やや良い	22.2												
	普通・不変	22.2	48.1	37.0	81.5	92.6	70.4	59.3	37.0	33.3	48.1	85.2	70.4	66.7
	やや悪い	33.3												
	悪い・悪化	11.1	25.9	3.7	0.0	3.7	25.9	40.7	29.6	33.3	22.2	0.0	11.1	22.2
	判断指数	▲ 5.6	0.0	55.6	18.5	0.0	▲ 22.2	▲ 40.7	3.7	0.0	7.4	14.8	7.4	▲ 11.1
建設業	良い・好転	9.5	9.5	38.1	9.5	4.8	4.8	0.0	14.3	19.0	14.3	4.8	0.0	4.8
	やや良い	14.3												
	普通・不変	28.6	66.7	47.6	76.2	57.1	38.1	38.1	57.1	52.4	61.9	90.5	66.7	71.4
	やや悪い	33.3												
	悪い・悪化	14.3	23.8	14.3	14.3	38.1	57.1	61.9	28.6	28.6	23.8	4.8	33.3	23.8
	判断指数	▲ 14.3	▲ 14.3	23.8	▲ 4.8	▲ 33.3	▲ 52.4	▲ 61.9	▲ 14.3	▲ 9.5	▲ 9.5	0.0	▲ 33.3	▲ 19.0
卸・小売業	良い・好転	0.0	0.0	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0
	やや良い	9.1												
	普通・不変	36.4	54.5	54.5	54.5	72.7	50.0	72.7	36.4	45.5	36.4	63.6	81.8	50.0
	やや悪い	36.4												
	悪い・悪化	18.2	45.5	27.3	45.5	27.3	50.0	27.3	54.5	54.5	54.5	36.4	18.2	50.0
	判断指数	▲ 31.8	▲ 45.5	▲ 9.1	▲ 45.5	▲ 27.3	▲ 50.0	▲ 27.3	▲ 45.5	▲ 54.5	▲ 45.5	▲ 36.4	▲ 18.2	▲ 50.0
理財金融	良い・好転	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	やや良い	0.0												
	普通・不変	100.0	50.0	100.0	100.0	100.0	100.0	50.0	50.0	50.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	やや悪い	0.0												
	悪い・悪化	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	判断指数	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
事業サービス	良い・好転	10.0	20.0	40.0	30.0	10.0	10.0	0.0	40.0	40.0	20.0	20.0	10.0	10.0
	やや良い	20.0												
	普通・不変	50.0	70.0	60.0	70.0	50.0	80.0	40.0	60.0	50.0	70.0	80.0	60.0	70.0
	やや悪い	10.0												
	悪い・悪化	10.0	10.0	0.0	0.0	40.0	10.0	60.0	0.0	10.0	10.0	0.0	30.0	20.0
	判断指数	5.0	10.0	40.0	30.0	▲ 30.0	0.0	▲ 60.0	40.0	30.0	10.0	20.0	▲ 20.0	▲ 10.0
一般サービス	良い・好転	8.3	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	8.3	25.0	16.7	16.7	8.3	0.0	0.0
	やや良い	8.3												
	普通・不変	33.3	50.0	58.3	58.3	91.7	66.7	58.3	50.0	50.0	50.0	75.0	75.0	66.7
	やや悪い	41.7												
	悪い・悪化	8.3	33.3	25.0	25.0	8.3	33.3	33.3	25.0	33.3	33.3	16.7	25.0	33.3
	判断指数	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 8.3	▲ 8.3	▲ 8.3	▲ 33.3	▲ 25.0	0.0	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 8.3	▲ 25.0	▲ 33.3
サービス業合計	良い・好転	8.3	20.8	25.0	20.8	4.2	4.2	4.2	33.3	29.2	16.7	12.5	4.2	4.2
	やや良い	12.5												
	普通・不変	45.8	58.3	62.5	66.7	75.0	75.0	50.0	54.2	50.0	62.5	79.2	70.8	70.8
	やや悪い	25.0												
	悪い・悪化	8.3	20.8	12.5	12.5	20.8	20.8	45.8	12.5	20.8	20.8	8.3	25.0	25.0
	判断指数	▲ 6.3	0.0	12.5	8.3	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 41.7	20.8	8.3	▲ 4.2	4.2	▲ 20.8	▲ 20.8